

重複店舗、11月に統廃合

旧大垣信用金庫と旧西濃信用金庫が今年1月に合併して誕生した大垣西濃信用金庫(大垣市恵比寿町)の合併

後初の総代会が20日、同市万石の大垣フォーラムホテルで開かれ、地域で重複している大垣市と揖斐郡池田町の

店舗を統廃合することを決めた。

店舗の統廃合はいずれも11月を予定。東前支店(同市東前)に新田支店(同市新田町)を統合、池田池野支店(池田町池野)に池田

支店(同町六之井)を統合し、名称は池田支店とする。統廃合により、店舗網は45店(3出張所含む)となる。総代会には、総代147人中140人(委任状含む)が出席。理事16人の任期満了に伴い、西脇史雄会長や大庭忠明副会長、栗田理事ら13人が再任された。任期は2年間。宇野正明、長澤近房、児玉輝昭の3理事は退任した。早瀬聰監事が辞任し、新監事に宇野正

明理事と加納勇二事務図り、スケールメリットを生かし収益力を強化し、地域経済の活性化と持続的発展に貢献できるよう努める」として経営基盤の強化をあいさつした。